



ユニバーサル社会の実現には
ハード整備だけでなくソフト施策も

ユニバーサル

人それぞれが様々なサポートを必要としています

社会に対応した
歩行者移動支援サービス

高齢者

車いす
使用者等

ベビーカー
利用者

訪日
外国人

介助者

児童

安全サポート



街歩きサポート



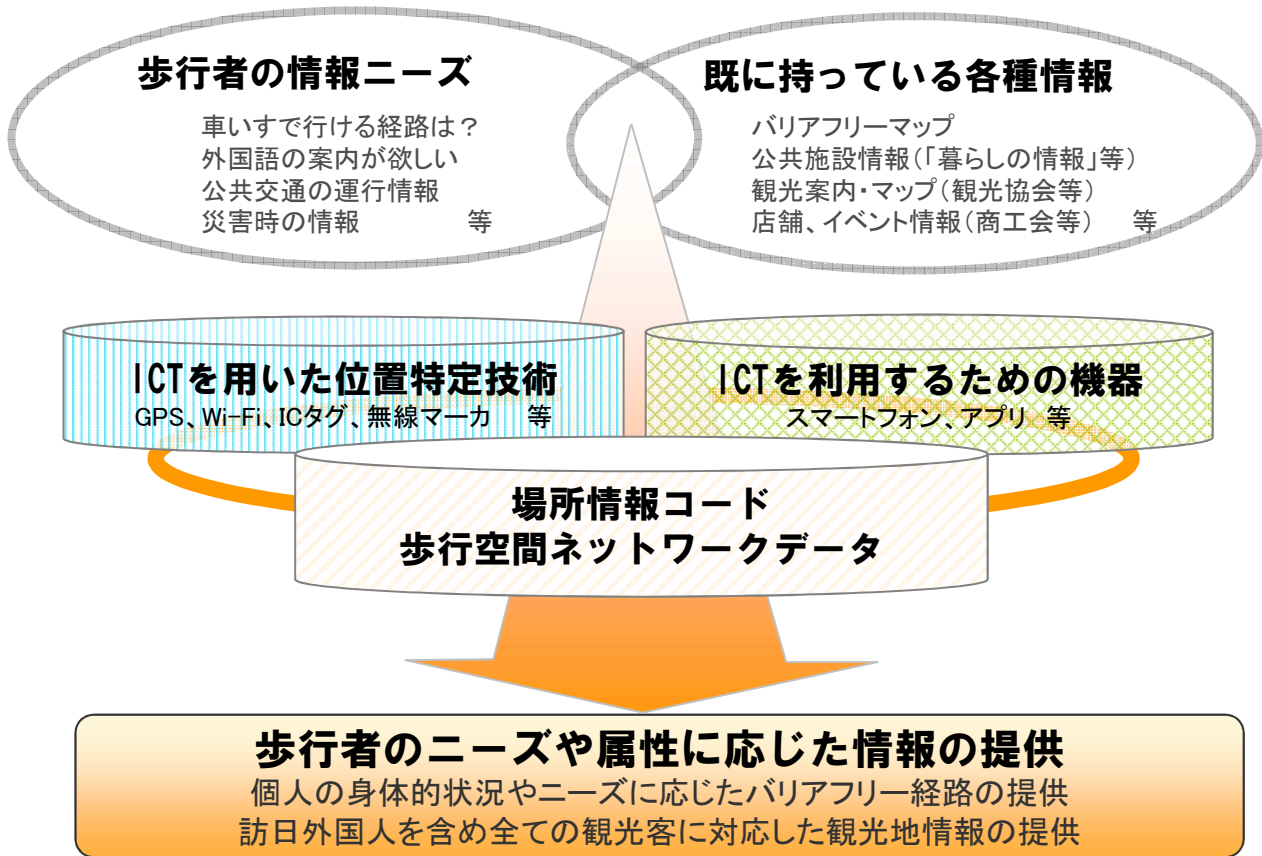
乗車サポート



観光サポート

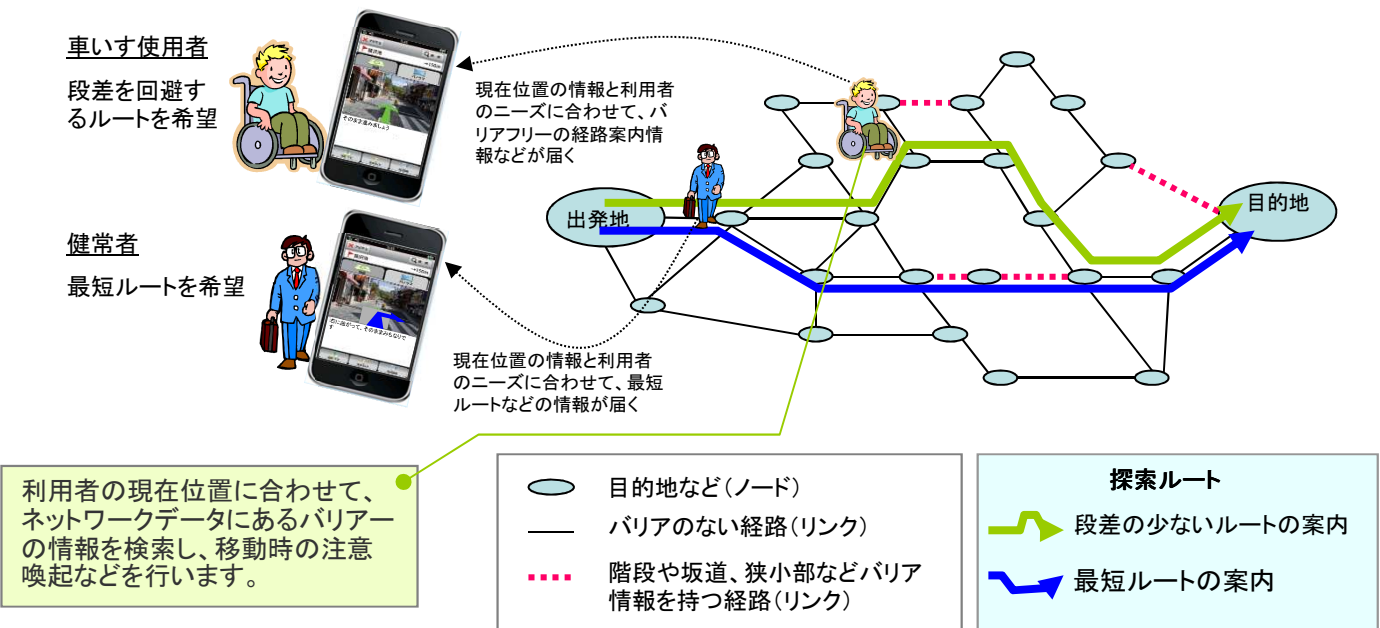
サービスの内容と仕組み

歩行者移動支援サービスは、様々な場面における利用者の情報ニーズに応え、移動経路や地域情報等を提供できるサービスで、スマートフォン等を通じ、ダイレクトに個人へ情報提供できる仕組みです。



サービスを支える歩行空間ネットワークデータ

歩行空間ネットワークデータが整備されると、階段、道幅、段差等を避けた、個人の身体的状況やニーズに応じたバリアフリー経路の検索が可能となります。



サービスの具体例（各地のサービス）

◇車いす使用者等にバリアフリールートを提供

街歩き 観光



写真を利用した経路案内（地上）

バリアフリー経路案内（スロープ）



音声によるバリアフリールート案内の注意喚起

銀座地区では、車いす使用者や高齢者、ベビーカー利用者の方を対象としたバリアフリー経路案内を地図や音声案内等で提供する実験を実施しました。

【PickUp】銀座地区では、一般の来訪者向けに、銀座の見どころを紹介した「ココシル銀座」という携帯電話、スマートフォン向けのサービスを提供しています。

●継続中のサービスの問い合わせ先
東京ユビキタス計画実験事務局 (<http://www.tokyo-ubinavi.jp/>)
(バリアフリー経路探索サービスは実証実験として平成23年度に実施)

◇公共交通と連携して地域情報を伝達

乗車 街歩き



周囲の風景を用いた情報提供

地図での情報提供

リストでの情報提供

スマートフォンや携帯電話へ、低床路面電車の運行情報や電停のバリアフリー情報、地域情報を提供



長崎地区では、低床路面電車の位置情報を利用者に提供して利便性を高め、支援を必要とする利用者の乗車意思等を運転手に伝達するサービスを実施しています。

【PickUp】長崎地区では、さらに、電停周辺のバリア情報、バリアフリー情報、観光関連情報をスマートフォンの地図やカメラ機能等を用いて提供。

●継続中のサービスの問い合わせ先
低床車運行情報等提供サービス『ドコネ』
(<http://www.naga-den.com/kikaku/rinzi/dokone.htm>)

◇外国人に外国語サービスを提供

観光 街歩き



(英語)

(中国語)

(韓国語)

多言語(英、中、韓)でも利用可能

津和野地区では、外国人や高齢の観光客等を対象に、主要観光施設に電波マーカを設置し、専用端末で観光施設や商業施設情報等を提供しています。

【PickUp】津和野地区では、さらに、専用端末を通して、観光客が歩きながら音声ガイドを楽しめます。

●継続中のサービスの問い合わせ先
津和野観光ガイド『ユビナビ』
(<http://www.tsuwano.ne.jp/kanko/modules/pico/index.php/content0155.html>)

◇その他の工夫事例

乗車 安全

- ucodeQRタグを利用したバス停での行き先案内
- 歩行ナビとともに地域の人が登録した新鮮な情報を受け取れるサービス
- 児童にアクティブタグを携帯させ、登下校記録を通知する児童見守りサービス

システムの組合せと費用の目安

- 既存のインフラやデータを活用などの工夫をすることにより、サービスの構築費用を安価に抑えることが可能です。
- サービスに利用できる様々なアプリケーションのツールが提供されており、それらを組み合わせてサービスを構築することも可能です。

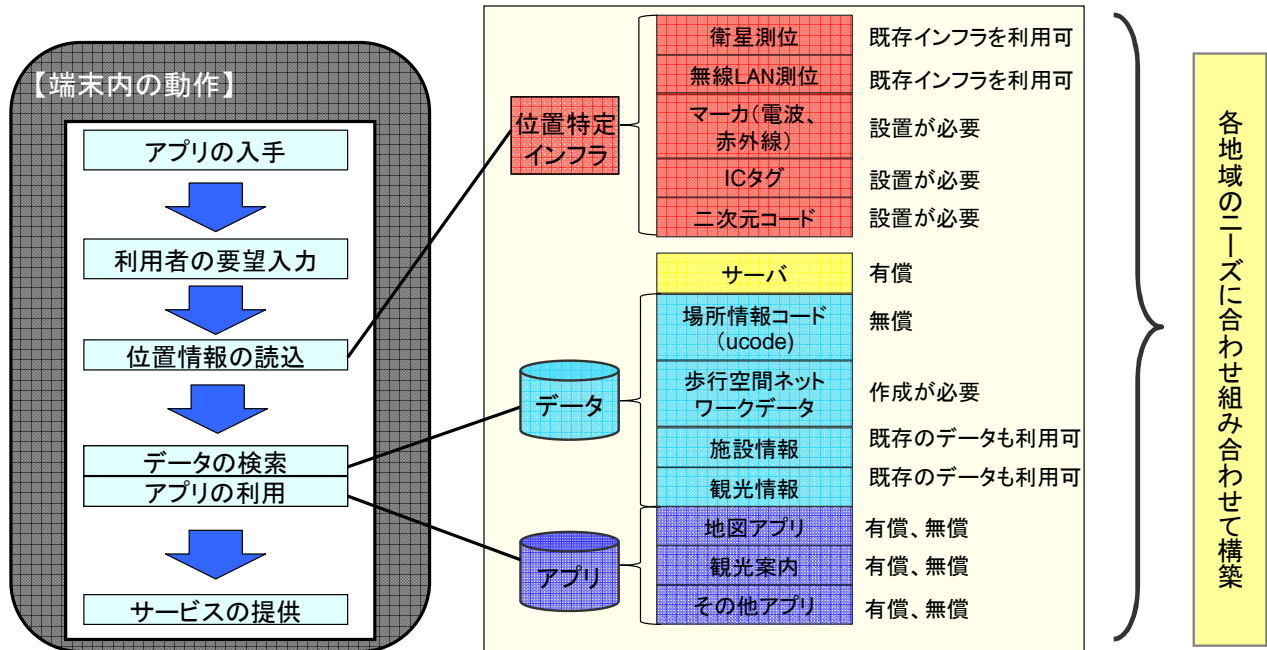


表 サービスの構築／維持に係る支出項目と費用の目安

費用項目	概算範囲(費用の目安) ^{※1}	
	導入費	運用費(年間)
位置特定インフラの設置／保守	既存インフラ活用～	0～約50万円
サーバのレンタル／保守	約20～70万円	約30～70万円
歩行空間ネットワークデータの整備／(維持・更新)	約20～50万円/km	(0～約200万円) ^{※2}
携帯端末アプリの作成／維持	約570～800万円	0～約30万円
合計(目安)	約800～900万円	約50～250万円

※1 概算範囲は、平成23年度に実施された「ユニバーサル社会に対応した歩行者移動支援に係る現地事業」の実施主体への聞き取りに基づいて整理したもの。

※2 歩行空間ネットワークデータの維持・更新費用は整備規模や整備方法等により変化します。

■サービスの仕組みや関連技術に関する情報

- ・ICTを活用した歩行者移動支援 ><http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/soukou/index.html>
- ・「歩行者移動支援サービスの導入に関するガイドライン(仮称)(案)」(平成24年3月)
- ・「ICTを活用した歩行者移動支援システムの水平展開に向けた事例とノウハウについて」(平成23年5月)
- ・「歩行空間ネットワークデータ整備仕様案」(平成22年9月)
- ・(参考)バリアフリー経路探索体験サイト ><http://www.hokoukukan.jp>

■問い合わせ先

国土交通省 総合政策局総務課(併)政策統括官付
住所: 東京都千代田区霞ヶ関2-1-2 中央合同庁舎2号館12階
電話: 03-5253-8794 FAX: 03-5253-1675